

IRC Application 添付写真例 (IRC2016年度版)

IRC Application添付写真は、レーティングを算定するためのファクター評価の参考写真です。また、計測状態を確認される側面もあるという認識で視認性(分解能)を考慮して選定して下さい。

IRC2016年度から、証書には、Bulb weight が明記される事になっています。フィンキール下端部のフレアやバルブ形状が明確に判断できる写真の提出が必要となります。

写真のサイズは、(640×480でJPEG)一枚あたり100kB以下が適当です。下図の例を参考に、約10枚をZipファイルフォルダーにまとめて提出して下さい。また、ファイル名の例「JPN1234_PARAGON XII_160101」(sail No.) (boat name) (date y m d)

- ・サイズは(640×480)で、JPGファイル約10枚をZipフォルダーに格納。
- ・写真は電子ファイルとしてRORCのレーティングオフィスに添付送信されますので、Zipファイルフォルダーにまとめて、メールに添付して下さい。フォルダー(ファイル名)は、[セイルNo]+[艇名]+[年月日](ファイル名例)に記号化されると、整理の都合が良いので、ご協力ください。また、個々の写真名は、この[sample]のように英文で～漢字表記はRORC担当者が理解できないかも知れません・・・無論[英数半角]です!



Photo 1: [Overview FWD]

艇の形態が確認でき、デッキやローテーションの状態も確認できると良い。



Photo 2: [Overview AFT]

後部、スターン形状が確認でき、デッキ上のブームやマスト、リグの状態も確認できれば、なお良い。



Photo 3: [Deck & Cockpit]

デッキ、コックピットの状態が確認でき、また、ホイールとベンチの形態も視界に入るように・・・



Photo 4: [Mast & Rig]

フォア&バック・ステーやジャンパーランナーなどの有無が確認でき、またスプレッドャーの後退角の状態が判別できる写真。



Photo 5: [Rudder]

ラダー形状を示すには、概ね、このアングル写真が定番ですが、この様にパラが視界に入っていると理想!



Photo 6: [FinKeel]

Application Form には、キール形状をリストから選択申告するようになっています。それを反映する写真ですが、特に、キール端部にフレアやバルブを持つ艇は、(Year Book P54で示される [9]-[13]の形状)それを、写真で明確に示し



Photo 7: [FinKeel]

キール形状、特に先端形状などを明確にするために、必要なら軸方向から、キールフレアなどが強調できる写真で補足してください・・・特に、キール端部にフレアやバルブを持つ艇は、その形態が明確に判別できる写真を添付して下さい。



Photo 8: [Interior Cabin FWD]

キャビン天井、サイドウォールの構造や、フォックスルの状況! パースクッション! キャビンドア、テーブル、サイドシェルフの構造や状態などが判別できる写真が好ましい。



Photo 9: [Interior AFT P]

キャビン左舷後方の様子・・・ギャレーの構造、状況、アフタキャビンや、クォーターパースの状況など判別できる写真・・・



Photo 10: [Interior AFT SB]

キャビン右舷の様子・・・つまり、左舷側写真の視野外を補完してください。もし、アフタキャビンがある構造なら、ドアの有無が判別できる写真が好ましい。